

Press Release 2021.6.3

好評につき品薄状態が続いていた飛沫・花粉対策メガネ

「JINS PROTECT PRO」

取扱い店舗を拡大し、6月3日（木）より店頭での販売を再開

株式会社ジンス（東京本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：田中仁、以下 JINS）は、1月の店頭販売開始以降、好評を博し品薄状態となっていた飛沫・花粉対策メガネのフラッグシップモデル「JINS PROTECT PRO（ジンス プロテクト プロ）」を、取扱い店舗をこれまでの約 100 店舗から約 300 店舗に拡大し、2021 年 6 月 3 日（木）より店頭で販売を再開します。



目元の飛沫対策として予想を上回る反響

店頭販売開始早々、品薄状態が続いていた「JINS PROTECT PRO」

2020 年 12 月、これまでの花粉対策メガネなどのフード付き機能性アイウェアシリーズのラインアップを統合し、花粉や飛沫などあらゆる環境から目を守る商品シリーズとしてリニューアルした「JINS PROTECT」。なかでも飛沫・花粉対策に最適なフラッグシップモデルとして新たに加わった「JINS PROTECT PRO」は、2021 年 1 月より店頭で販売を開始したところ大変好評を博し、2 月中旬以降は店頭・オンラインショップともに品薄状態が続き、お客様から再入荷のお問い合わせを多くいただいております。

緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の延長など、まだまだ新型コロナウイルスの感染拡大が続いている昨今。目を飛沫から防ぐアイテムとして、より多くのお客様のご要望にお応えするため、発売開始時以上の商品在庫をご用意し、取扱い店舗も約 300 店舗に拡大して販売を再開いたします。

高密着のフードと専用メガネバンドで飛沫を最大 92%カット※

「JINS PROTECT PRO」は、肌当たりの柔らかい高密着の透明フードを採用し、顔との隙間を限りなく減らすことで飛沫最大 92%カット※を実現。専用のメガネバンドを付属し、テンプルエンドにバンドを装着することで、密着性をさらに高めて保持できます。また、くもり止めレンズを標準装備し、レンズには紫外線 99%カット機能も搭載しているため、これからの湿度や紫外線が気になる季節でも安心してお使いいただけます。

「JINS PROTECT PRO」商品概要

- 【商品名】 JINS PROTECT PRO (ジンス プロテクト プロ)
【ラインアップ】 2型6種
【店頭再販開始日】 2021年6月3日(木)
【価格】 ¥8,800(税込) 専用バンド付き (度付きレンズへの交換は+¥2,200となります。)
【販路】 JINS 一部店舗、JINS オンラインショップ
【飛沫カット率】 最大92%カット※
【URL】 <https://www.jins.com/jp/protect/>

「JINS PROTECT PRO」ラインアップ

肌当たりの柔らかい高密着の透明フードを採用し、顔との隙間を限りなく減らすことで飛沫最大92%カット※を実現した「JINS PROTECT」シリーズのフラッグシップモデル。くもり止めレンズも標準装備。



<商品特長>

高密着の透明フード



肌あたりの柔らかい素材をフードに使用して、顔とのすき間を減らすことで高い飛沫カット率を実現。

専用バンド



テンプルエンドに専用のバンドを装着することで、密着性をさらに高めて保持します。

※：飛沫カット率について

- ・当社調べ／飛沫のカット率は環境やメガネのかけ方、顔の形などにより異なります。
- ・飛沫・エアロゾル発生装置の正面60cmの位置に人頭模型を設置。装置を用いて飛沫を発生させ、発生直後(0~2秒後)に人頭模型の目の位置に飛んできた飛沫(粒径0.3μm以上)個数をパーティクルカウンターを用いて計測。
- ・測定結果は飛沫発生直後の数値。
- ・実験はケイシン五反田アイクリニック院長内野美樹先生の監修の下、実施。
- ・飛沫92%カットはJINS PROTECT PRO WELLINGTONのカット率で、JINS PROTECT PRO WELLINGTON装着時と裸眼の状態を比較。

【参考資料】

飛沫付着に関する実証実験監修医・内野美樹先生コメント

<目のウイルス感染対策について>

口や鼻の粘膜と同様に、目の粘膜である結膜からもウイルスが感染を起こす可能性があります。これに対し、フェイスシールドやゴーグルを使用して目を防御することで、目からの感染リスクを78%軽減できるという論文*も発表されており、目を物理的に守ることはウイルス感染対策のひとつとして重要であると考えられます。しかしながら、目の対策を行っている方はごく少数ではないかと思いません。

<「JINS PROTECT」飛沫付着に関する実証実験について>

今回の実証実験によって、「JINS PROTECT」シリーズは目元への様々な飛沫の侵入を十分に防げることがわかり、目の飛沫対策として有効であると考えます。

*Derek K Chu, et al. Physical distancing, face masks, and eye protection to prevent person-to-person transmission of SARS-CoV-2 and COVID-19: a systematic review and meta-analysis. Lancet 2020; 395: 1973-87.

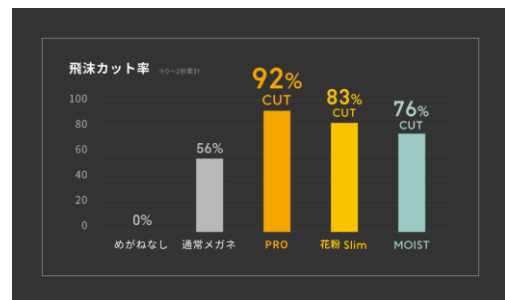


【内野美樹先生 プロフィール】

2001年山梨医科大学を卒業し、慶應義塾大学医学部眼科学教室に入局。その後、両国眼科クリニックを経て、2012年慶應医学博士号取得。同年にハーバード大学医学部スケブンス眼研究所留学、2015年にはハーバード公衆衛生大学院にて修士を取得。帰国後、慶應義塾大学医学部眼科学教室特任講師を経て、2020年よりケイシン五反田アイクリニック院長。今まで、公衆衛生学の視点より予防医学に重点を置いたアイケアグッズを多く監修しており、現在は国際的なTear Film & Ocular Surface (TFOS)の疫学チームのメンバー、Dry Eye Work Shop IIの日本大使を務めている。

飛沫付着に関する実証実験について

内野美樹先生監修のもと、疑似的なくしゃみを発生させることができるカトウ光研株式会社の「飛沫・エアロゾル発生装置」を使用して実証実験を行いました。装置から60cm離れた位置の顔模型に模擬唾液を噴霧し、目の部分に飛んでくる飛沫の個数を計測できる「パーティクルカウンター」で比較し、カット率を算定しました。



「飛沫付着に関する実証実験」動画

「飛沫付着に関する実証実験」の様子を撮影した動画をJINSのYouTube公式チャンネルにて公開しました (<https://youtu.be/Zvwpqp7lumM>)。飛沫・エアロゾル発生装置から顔模型の目元に飛んでくる飛沫を、可視化用レーザーシート光源を照射し、高速度カメラで撮影。メガネなし、通常のメガネ、JINS PROTECTを比較し、飛沫がどのように目元に飛んでくるかを観察しました。

